



今月は、区長職で永年勤続表彰を受けた、波多野サワさんをご紹介します。

波多野サワさん 74歳、宮地

117区長のうち、女性区長は、ただ一人。

平成20年度阿蘇市区長会総会で、永年勤続表彰が5人に贈られました。その中に区長会で、唯一の女性区長であった波多野さんの姿がありました。波多野サワさん（74歳）は、宮地の西2区（84世帯）の区長さんです。今年で区長は9年目。自宅が裁判所前で、商店をしていることもあって、地域では顔なじみの方です。

区長の仕事。とにかくやってみました。

波多野さんが区長になったきっかけは、区長をしていた



総会での表彰式の様子

ご主人が突然お亡くなりになり、任期残りわずかだったため、地区の方に「サワさん、協力するからこのまま続けてもらえないだろうか」との依頼からでした。西2区は公民館がなく、8つの組長と相談しながら運営していく仕組みです。サワさんは、高齢であること、車の免許がないことなど不安もありましたが、より地域の人たちと接する機会が増える地区を歩いて回って運動になるなど前向きに考え、第二の人生の第一歩として区長を引き受けました。

どんな役も真面目にこつこつやればできます。

「すべきことを真面目にやっていけば、信頼も生まれ、周りの皆さんが協力してくださるようになります。誰もが、社会の中でいろんな役職を任せられる場面に出くわすと思います。特に、女の人は、役を遠慮しがちです。大いにいろんな役に挑戦して、女の人たちがもつと社会に出て貢献してほしいですね。そうすれば昔のような活気ある町がつくれると思います」と波多野さん。宮地に嫁いで50年、神社の祭りや官公庁の多い通りならでは人の動きなど町の移り変わりを懐かしみ、この町を大切に思う気持ちが伝わります。

女性ならではの視点と気遣いで、「区長をやってみると、職務において男性でなければできないという面は無く、むしろ女性の方が雑用にも慣れているので仕事も段取りよくこなしやすいのでは」と波多野さん。市に要望書を提出し、道路などの改修等にも意欲的に取り組まれてきました。何より、

女性ならではの優しさに人柄の良さもプラスされ、「ちょっと波多野さん」と誰からも声をかけられ聞き上手なところが波多野さんのいいところ。「私がこんな風に長年やってこれたのは、地区の方々の協力があつたからこそ。皆さんの支えで、今年も区長を頑張ることになりました」と、波多野さん。

今日も、いつもと同じ道を回覧板をかかえ、往復する元気な姿が印象的です。



波多野さんの趣味は、パッチワークとグラウンドゴルフ。腕前はご覧のとおりで、作品は一の宮郵便局にも飾られています。